

Hi, friends 1 Lesson 9 第2時

6 本時の学習 (2 / 4)

(1)本時のねらい : 丁寧な言い方でほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

(児童のめあて… 例 ていねいな言い方でほしいものをたずねたり答えたりしよう！)

(2)評価規準 ○ ほしいものについて丁寧に尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。

(外国語への慣れ親しみ)

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ) (慣) (気) 評価規準 < > 評価方法 ◆ 他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start !” ○ジェスチャーしながらあいさつ	“Let’s start !” “How are you ?”	
導入	OP.36【Let’s Listen②】 だれが何を注文したのか考えよう ・さくらの父と母が注文したものを聞き取る。 ・注文したものを確認する。 ・なぜ今までの表現と違うか思い出す。	・音声教材を聞かせる。 ・注文したものを確認する。 ・ほしいものの尋ね方がなぜ今までの表現と違うのか思い出させる。 (丁寧な言い方)	
展開	○本日のめあてを知る。 OP.37【Let’s Chant】 What would you like? ・リズムに合わせてほしいものを尋ねたり答えたりする表現を言う。 OP.36【Let’s Play】 友だちにフルーツパフェを作ろうⅡ ・果物等の形に切ったカードを使う。 ・ペアになりジャンケンをする。 ・勝った方の児童は店員になり相手にほしい果物などを尋ね、グラスに盛り付けていく。(最初はカードをおくだけ) *カードの枚数を決めておく。 ・お互いに尋ね合った後、丁寧に盛り付け、のりで貼って完成させる ・完成させたら交換し、自分の食べたいパフェのワークシートに名前を書く。 ○仲間さがしゲーム ・教室を自由に歩き、出会った友達に何がほしいか(食べたいか)丁寧な表現で尋ねる。 ・パフェシートの裏面に尋ねた相手のサインをもらいその隣に自分のパフェと同じ素材がいくつあったかを記入。 ・自分と同じパフェ、または近いパフェを作った友達はだれか、確認する。	・本日のめあてを伝える。 ・デジタル教材を聞かせる。 ・果物等の形に切ったカードを使用するよう伝え、前時回収していたらパフェグラスのシートを配付する。 ・今回は店員と客の設定でパフェをつくることを伝える。 店員: What would you like? 客 : I’d like ○○, △△ and □□. ・お互い尋ね合ったら、相手の食べたいパフェの材料をグラスに盛り付け、のりで貼って完成させるよう伝える。 ・活動の説明をする。 ・ここでは丁寧な言い方で行う。 児童A : What would you like? 児童B: I’d like ○○, △△ and □□. ・自分と同じパフェを作った友達はいたか、またそれに近い友達は誰だったか確認する。 *パフェシートを集め、教室に掲示する。	(慣)ほしいものについて丁寧に尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。 < 行動観察 > ☆教材⑮ パフェ用フルーツ またはデジタル教材 CD DATA→data→worksheet →Word(PDF, ichitaro)→ws 9 fruits (1= 白黒 2= カラー) ☆教材⑯ パフェ用グラス またはデジタル教材 CD DATA→data→worksheet →Word(PDF, ichitaro)→ws 10 glass (1= 白黒 2= カラー)
挨拶	○ふり返しカードに記入し、発表。 ○終わりの挨拶 “Let’s finish .”	○ふり返しカードを配付する。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish .”	☆ふり返しカード

